



小倉 賢

多孔質材料革新によってFCC触媒以来の衝撃を

機能性ナノ空間材料創製研究会

RC-64

1. 代表幹事

小倉 賢 (東京大学 生産技術研究所 准教授)

連絡先

小倉 賢

Tel : 03-5452-6321

Fax : 03-5452-6322

e-mail : oguram@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

ゼオライトを始めとする多孔質ケイ酸塩結晶は、石油精製部門や吸着分離プロセスで実用されているほか、環境対応プロセス等これまでとは異なる分野への適用が期待大となっている機能性ナノ空間材料である。貧資源国である日本では、石油化学産業の生産技術革新による更なる生産性向上を図るべく、低コスト・高機能な新規触媒や吸着剤の開発によって画期的な国際競争力を勝ち取らなければならない。

国際ゼオライト機関で認定されているゼオライトの結晶構造は現在179種類であるが、工業化されているのは12種類程と言われている。一方、10万種の構造が構成可能とシミュレーションされており、新規構造種による高機能材料創出の可能性は大である。新種のゼオライトを試験的に利用したいという産業側からのニーズは数多いが、合成に経験のない企業やユーザーには合成から特性評価までのハードルが高い。

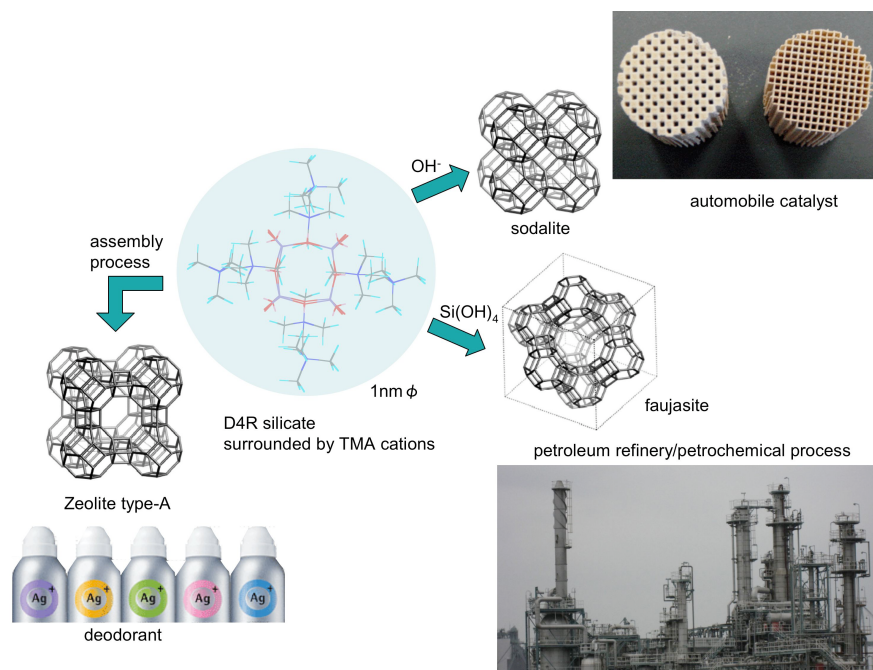
そういった背景の下、知の集積による新規高機能性ナノ空間材料創製技術研究拠点の創設および機能性ナノ空間材料の標準化を本研究会の最終目標とする。

3. その他

年会費：賛助員の場合（賛助会費一口10万円）：年会費10万円（参加者2名までの場合）
3名以上の参加は要相談。

定員：参加企業数の制限なし。研究現場に近い若手あるいは議論に参加できる方が対象。

運営方法：年数回。基本的には生産技術研究所内で行う。本研究会ルールを遵守し、情報交換、意見交換を行う。



様々な応用用途が開発されたマイクロ多孔質物質であるゼオライトでも、ひとつのビルディングユニットから構築可能であることを示す典型的な例。